

## 金蔵での活動を通して 「金蔵」ブランドの強化による金蔵地区の地域活性化

大友信秀 大学教授

学生団体名 地域ブランディング研究会（金沢大学）

参加学生 田中隆丞・柴祐介・木上光明・鹿野将太郎・川戸重範 その他

### 1、概要

金蔵は、高齢率 50%を超える輪島市町野町にある集落である。

本活動の目標は、この輪島市金蔵での活動をもとにした地域発展である。主な活動として、金蔵集落の方々との定期的なミーティング、毎年 8 月に行われる金蔵万燈会の運営へのかかわり、金沢大学学祭・上述の万燈会での金蔵の特産品の販売、また、上述の活動成果の facebook や twitter などの SNS を用いて報告を行った。

また、今年度からの活動として、新商品の開発、金蔵集落へのツアーの考案をした。

#### 金蔵の風景



### 2、地域活動の具体的内容

5 月 29 日（日）現地の方とミーティング

現地の方とのミーティングを行った。今年度から加わった新 1 年を連れていき、金蔵集落を案内していただいた。今年度の活動方針について話し合った。

参加学生 9 名



## 6月30日（木）新しい特産品の試作

金蔵の特産品であるお米と現在ある特産品のちゃぷりんを組み合わせた、新しい特産品を考案したいと思い試作を行った。米を使うということから、その食感を活かしたいと考え、おかゆを用いたプリンをつくった。その結果、米の食感が残りすぎてしまい成功とは言いがたい結果になってしまった。

参加学生 10名



## 7月6日（水）万燈会に向けたミーティング

毎年、金蔵集落で8月16日に行われている万燈会に向けた最終ミーティングを行った。現地の方と、当日のスケジュールの確認、当日注意すべきことについて話した。

参加学生 2名



## 8月15（月）～17日（水）金蔵万燈会

金蔵集落で行われる金蔵万燈会に参加した。金蔵万燈会とは、毎年8月16日に先人を偲ぶために行われるイベントである。サークル外の金沢大学生も募集し、参加しました。万燈会では、ろうそくの入ったガラス瓶の設置や着火、会場の準備、片付けなどを行いました。昨年の反省を活かすことで、滞りなく行うことができ、現地の方にも、ボランティアの方にも満足していただくことができました。

参加学生 30名



#### 10月30日（日） 金沢大学学祭への出店

金大祭では、金蔵の特産品である2種のちゃぶりんと、もちケーキ、レモンケーキ各25個を送っていただき販売しました。これまでの傾向から、今回は値段の調整を行っていましたが、無事完売することができました。

参加学生 10人



#### 12月15日（木） 新しい特産品の改良

前回行った試作をもとに、どのように改良するか話し合い、今回は米をミキサーでくだくことにした。加えて、砂糖やはちみつなどによる味の調節を試みた。

その結果、はちみつを加えたプリンは固まらなかった。砂糖を使ったプリンは固まったため、砂糖を使っていくことになった。

参加学生 4人

### 3、地域活動の成果

万燈会についてだが、ボランティアの方への配慮など、昨年度見つかった反省を活かし、改善することで、よりよいものにすることができた。また、今回は留学生の方にも参加していただいたのだが、満足していただくことができた。

また、能登地域が世界農業遺産に登録されていることを活かすために、今年度から金蔵集落の特産品を使ったスイーツの開発を始めた。試作と改良を重ね、形にすることができた。

金大祭では、ちゃぶりんやケーキの販売を通して、金蔵の宣伝を行うことができた。

#### 4、来年度の地域活動計画

今年度は、全体を通して facebook や twitter などの SNS の利用が少なかったように感じる。特に、万燈会のボランティア募集の際には、もっと SNS を活用し、宣伝を行うようにしたい。また、上述のプリンについて現地の方に提案したところ、好感触であったので、来年度は、現地の方と協力して、商品化に向けて改良を重ねていきたい。

また、現地の方と直接話し合う機会が少なかった。上述したように、来年度から現地の方とより密接した活動をしていくので、現地の方との積極的なコミュニケーションを心がけていきたい。

#### 5、学生の感想

活動の情報発信不足、地域の方との連絡不足などの課題もあったが、全体的には、昨年度の反省を活かしより良いものにすることができた。また、上述したような、金蔵の米を用いた新しい特産品の開発など来年度に向けた新しい活動も始まるので、精力的に取り組んでいきたい。

#### 6、現地の方からの評価

集落イベントで高齢化に伴う、パワー不足にたいして、金蔵万燈会ボランティア募集、そして当日前後のボランティア作業企画をについて協力をお願いした結果、多大な成果を見ることが出来たことが非常に良かった。

里山地域資源の魅力を探求し、発信する為、又、地域に活かせるかの提案をより期待するものです。地産品の商品化取組みとして、

- ・皆さんから提案のありました「仮称；金蔵の米ちゃぷりん」、
- ・地区で考えております、山菜わらびを利用して「天然のわらび餅」、
- ・砂糖を使わないでの「あまちゃを使用してのちゃぷりん」

等、是非、学生の皆さんと共に具体化したいと思います。